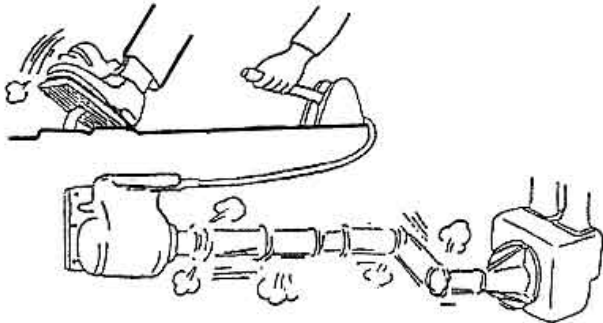
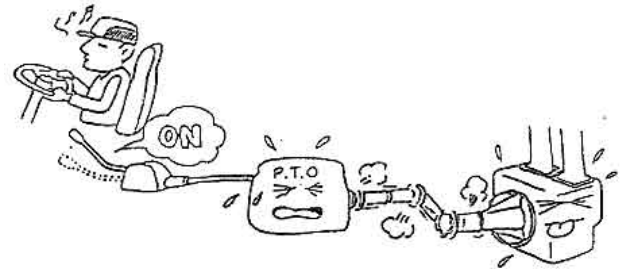


ポンプは空回転および過回転はしないで下さい。
(車両に表示の適正回転数で使用して下さい)
ポンプの焼き付きの原因になります。

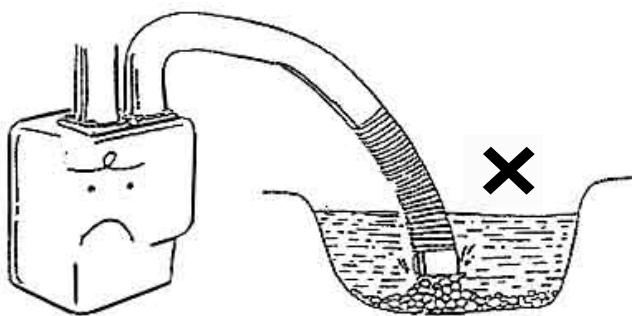


水ポンプを使用しない時は必ず「PTO」を「OFF」にして下さい。

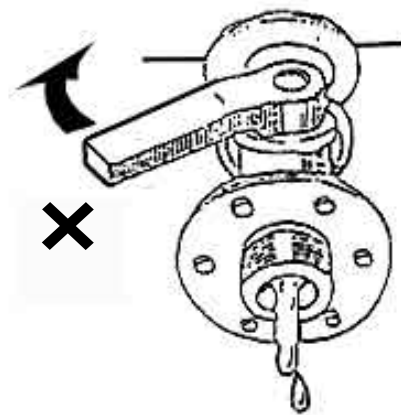
「PTO」を「ON」のまま走行するとポンプが焼き付き破損するばかりでなく、車両のトランスミッションも破損する恐れがあります。



砂、砂利等の固形物は吸入しないで下さい。ポンプおよびコックに噛み込み破損の恐れがあります。

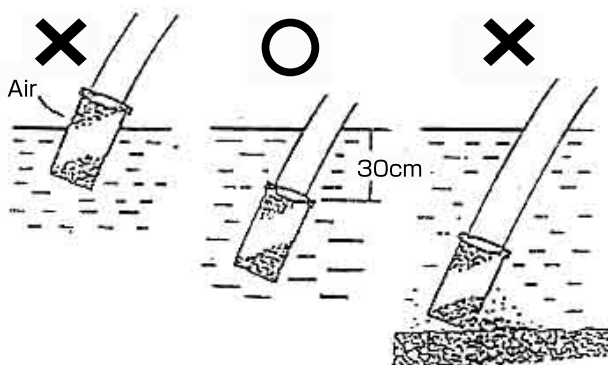


各ボールコックのレバーは斜め位置のままで放置しないで下さい。パッキンが変形し、漏れの原因となります。



バスケット・ストレーナが水面に出ているとエアを吸い込み、吸い込み不良となります。

また底部に沈めると砂・泥などを吸い、トラブルのもととなります。



点検・整備時には回転している部分には触れないで下さい。ポンプ又はドライブシャフトなどの回転状況の点検時以外はエンジンを停止して点検・整備を行って下さい。

